

YCU REUNION SDGs オンラインセミナー(第 23 回)

4月26日(火)20:00~21:30 オンライン開催

講師:伊藤 泉美さん 横浜ユーラシア文化館 副館長(S60 横浜市大文理卒)

「横浜中華街 160 年の軌跡」～中華街はなぜここにあるのか～

先日 4/16 に放映された「日立 世界ふしぎ発見」で、横浜中華街について解説された伊藤さんに、

- ①日本最大の中華街(チャイナタウン)はなぜ横浜にあるのか？
- ②なぜ、中華街では道に迷うのか？
- ③中華街は中国人の街か？
- ④震災・戦災からの復興について

豊富な写真や地図を用いて詳しく読み解いていただきました。

《参加者の感想》

◇とてもわかりやすく中華街の成り立ちについて説明していただきありがとうございました。とても学びが多いセミナーでした。

内容を裏付けるエビデンスがきちんとあって素晴らしいセミナーだと思いました。

◇親世代から記念日は聘珍楼を利用しました。日台国交断絶の 1972 年については興味深いです。当時、私は故郷・沖縄で高校生だったのですが、

周りに台湾の方が多く、中華料理店と言えば、台湾料理だったと思います。横浜中華街、魅力的ながら中々足を運ぶことができずにいましたが、

お話を伺って、これから中華街を歩く時にとっても身近に感じると思います。ありがとうございました。

◇伊藤先生の説明と資料、画像がわかりやすく良かったです。横浜生まれで、祖父宅が元町入り口にあったので、学生時代まではよく中華街で食べました。

学卒後は北海道人を通していますが、2~3回家族連れなどで訪れました。その時は「新華僑」時代になって情緒とサービス精神が変わった、と感じました。

その変化要因も教えてもらって勉強になりました。リモート講座もいいですね。ありがとうございました。

◇市大10期生として昭和36年卒業当時、最初の就職、勤め先が山下町に本社のある老舗貿易商社でした。今回、古地図を見ながら、幕末横浜村の地形・地理をはじめ知り、

またその後の開港～中国華僑との関わりで発展を遂げてきた史実を、情報量の豊富な貴重な写真をもとに学ぶことができました。ふるさと横浜を愛する講師の想いが伝わり感動しました。

桑原先生のご感想も納得です。

◇地図の中では、中華街だけが斜めに位置しているように見えるが、実は中華街の方角は正しく、長陽門や朱雀門など4つの門(牌楼)の位置は、結果的に風水からみても良いそうで、

どうりで中華街はいつも賑わっているのかもしれないね。中華街の道路の方向が周囲の道路の方向と並行でないのは、田んぼの畦道を道路にしたから！など、地図の読み解きも本当に興味深くワクワクしました。

◇まさに、ふしぎ発見！のセミナーでした！

◇もう一度「世界ふしぎ発見」で、ゲスト出演してプレゼンやっていただきたいと思うほど楽しみながら学べました！

さて、同窓会として特に何を学んだか？

中国は、日本より二十数年前にいくつもの港が開港していました。中国から西欧諸国の人々と共に日本にやってきた中国人たちが、買弁(バイベン 漢字を使って通訳したり、秤量の知識を生かして日本人の商売を助ける仕事)をすることによって「日本は西欧諸国との貿易が可能となった」そうです。

それは「違うことのできる人が繋がったとき、次の段階に進める」ことを意味していると伊藤さんは話します。

なるほど！今、同窓会が同窓生や母校、地域などとのネットワークを広げようと努力していることは「違うことのできる人」と繋がろうとしていることにほかなりませんね。

さて、同窓会は「次の段階」はどうなっていくのでしょうか？楽しみですね！

《一部ご紹介》

中華街現南門シルクロード 1920年頃



この他にも多数の中華街の看板を拡大して見せていただきました。右側の看板の下の方には「トイレットペーパー」と書かれていて、上の方は英語で書かれていますが、Suzuki（鈴木）さんのお店です。「市場通り」の写真でもわかるように、日本人の店（豚肉・魚・野菜などの生鮮食料品店が多くあったそうです。

BookBinding（製本）、Constructor（西洋建築）、Photograph（写真）、Tailor（洋服屋）、PianoMaker（ピアノ製造）、などの看板を見せていただきました。洋館をつくっていたのは中国人で、日本人の弟子たちがさまざまな技術を習得していったようです。

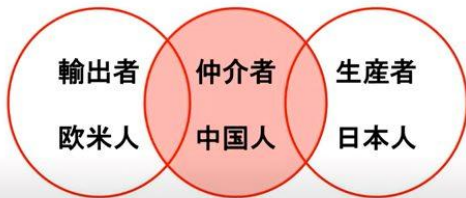
## 西洋人の貿易会社で働く中国人



買弁 ばいべん

絹のあつらえで裕福ぶりを見せていた中国の買弁の人々

### 茶輸出の場合



違うことの出来る人がつながった時、次の段階に進める。

仲介業者「買弁」がいなければ成り立たなかった貿易

### 開港前の横浜村付近



左側の斜めになっている区画が横浜中華街

(昔は田んぼのあぜ道だった)